



学校だより

No. 10 さいたま市立神田小学校
令和7年1月7日発行 TEL (853) 4377
URL : <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を
たくましく生きる神田の子
・かしこく・たくましく・あたたかく

子どもたち一人一人のwell-being実現へ向けて

校長 中村 誠

2025年が始まりました。本年も教職員一同、「すべては神田の子の希望をはぐくむために」の合言葉を胸に、真摯に努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和6年度も残り3か月となり、子どもたちが3学期を充実して学校生活を送れるようにするとともに、令和7年度へ向けて昨年末から準備を進めているところであります。神田小学校が子どもたちにとっても保護者にとっても、また地域の皆様にとっても誇れる学校としていくため、子どもたち一人一人のwell-beingを実現する学校を目指していきたいと考えております。

well-beingとは、「多様な幸福」「身体的・精神的・社会的に良好な状態にある」ことを意味します。世界の先進諸国では、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがい捉える考え方が重視され、日本においても同じ考え方が浸透してきています。子どもたちを取り巻く環境でも、不登校やいじめなど子どもたちの抱える問題や困難が多様化・複雑化する中、子どもたち一人一人が幸福な状態であることが重要であるとの考えから、子ども家庭庁を設立し「子どもまんなか社会」の実現に取り組んでいます。今までは、時代における社会構造の中で、どのように生きていくかが主眼に置かれていましたが、これからは、未来がどのように変化していくか予想もつかない状況において、今を生きる一人一人が自ら価値を見出し、幸福を感じながら社会で生き抜いていくことが求められていきます。子どもたち一人一人が、自分自身のwell-being（多様な幸福）とは何かを見つけ、それを実現していくことこそ、これからの未来を創る羅針盤となっていくことでしょう。

本校においても、不易と流行を大切にしながらも時代に合わせて教育活動を変えていかなければいけないと考えています。そのために、子どもたち一人一人のwell-being（多様な幸福）が実現されることを大きな柱に置き、これからの教育活動を進めてまいります。自分だけが幸福なのは、真の幸福とは言えません。自分も他の人も、みんなが幸福を感じられることが大切だと思える子どもたちを育成していきたいと思えます。

保護者・地域の皆様には、大きく成長していく子どもたちを見守りながら、今月も変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



縦割り活動（異学年集団での活動）の様子です。次年度は、このような機会を増やしていきたいと考えています。